

## 中間支援活動助成(基本)事業 実績報告

団体名	(一社)みくもや	代表者名	(職名) 代表理事	(氏名) 大福聡平
事業名	若者に特化した中間支援事業UxCampus(ユークャンパス)			

### < 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・ 情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R 6 実績	43回/16件	71件	85人/20回	8件	-
R 7 計画	40回	71件	85人/20回	8件	-
R 7 実績	50回/9件	108件	44人/10回	12件	-

### < 効果と成果 >

昨年度の今後の展望で記載した「半径1キロ圏内にいるステークホルダーとの関係構築」を推進できたことが大きな成果だと考える。長田神社前地域での「子どもの居場所ネットワーク」の発足及び彩星工科高校サマーワークショップ、夏越ゆかた祭り、神戸常盤大学BASE"ZUT"での地域イベントへの参画などが代表例である。そこから派生して、地藏盆「夏」のあそび場企画、みらいおもいけ園（障がい福祉施設）での出張だがしや、コープ長田でのチンドンサークルの演奏（下町芸術祭企画）及び出張ライブラリーなどユニット422ならではの企画も多数生まれた。以上のように、若者と地域の交流拠点として様々な関係者とコミュニケーションを取ることができた1年だった。

### < 今後の展望 >

広報面ではまだまだ課題が残る状況である。そのため、広報制作物を用いた情報発信などを強化していきたい。加えて、ユニット422の運営体制を整備しつつ、オープン日を増やすことも意識していきたい。  
また、次年度は「コベカツ（中学校の部活動の地域移行）」も始まり、ユニット422はコベカツクラブとして、中学生の受け入れも行う予定である。小学生～大学生までの10代～20代が集まる場所でありつつ、地域とつながる交流拠点でもあるというPRをどのようなコンセプトで発信すればよいのか検討することも今後の課題である。

### < 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	5 0 0 , 0 0 0
自己資金等	2 5 , 5 7 6
合 計	5 2 5 , 5 7 6

(支出)

区分	項目	金額(円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費	150,000	150,000
	ボランティア謝金	0	0
	広告宣伝費	118,800	102,309
	その他(旅費交通費等)	101,000	97,691
	小計	369,800	350,000
間接経費(一般管理費)		155,776	150,000
合計		525,576	500,000